

蘆花会通信

第7号
2024年(令和6年)
7月15日

特定非営利活動法人

蘆花会

編集発行人 佐久間保明
<https://www.rokakai.com/>

愛子忌に往時の地形をしのぶ

今年の愛子忌二月十七日は少し寒い曇り日でしたが、順調に開催出来ました。

講演は樺澤眞事(かばさわまこと)氏による、「地図情報から見た『みみずのたはこと』の千歳村」という題のお話です。

はじめてパワーポイントが使われ、当時の千歳村の地形の状態がモニターに写しだされました。国土地理院や埼玉大学の電子的な地図情報によると、徳富蘆花が当地に移り住む以前の明治期の地理が詳しくわかります。林や畑や竹林など、今では想像も難しい土地の様子が明らかとなりました。話は恒春

園を中心とした土地利用の

実際が中心でしたが、立体的な高低差も示され、恒春園の

両側には深さ3〜5メートルの谷のようなくぼみのあったことが知られます。また恒春園は四方を川に囲まれており、仙川や烏山川や北沢川に沿って水田があり、園の

居宅前と八幡神社には広葉樹の雑木林がありました。

さらに同作中の「低い丘の上から」記述に合わせて恒春園からの眺望をも確認でき、園の南の水無川や富士山が防風林に制限されていることや、青山街道と現状の道筋との対応など興味深い指摘が多くなされました。

樺澤氏は以前より文学セミナーの熱心な参加者であり、地図に関する広い識見と豊かな知識をお持ちだったので今回の講演が実現しました。さらに氏は極めて遠慮深い方でいらつしやうして、講師の受領を辞退されました。あらためて氏の奥ゆかしさに敬意を表します。

蘆花忌の集いは

九月二十一日

今年の蘆花忌をしのぶ集いは、例年のごとく九月の第三土曜日の、二十一日を予定しました。講演は午後二時開始、受付は一時半です。

講師は東洋学園大学元教授の神田由美子氏で、演題は



「伊香保温泉の男女―徳富蘆花「不如帰」と林芙美子「浮

雲」―と決まりました。

神田氏は浅草生まれの江戸っ子として下町情緒の濃い環境のもとで豊かな教養を身に付けられました。近代文学のなかでも芥川龍之介の研究者として著名です。芥川が「大川の水」で思い入れ深く言及している隅田川に、氏も幼い頃より親しみつつ芥川の作品を愛読してきたという経歴の持ち主です。

代表的な著書である『芥川龍之介と江戸・東京』のほか、『文学の東京 記憶と幻影の迷宮』や、編著に『スタイルの文学史』『渡航する作家たち』などがあります。

演題にある林芙美子は『放浪記』で有名な作家です。「浮雲」は終戦直後の世相を写す長編小説であり、高峰秀子と森雅之(有島武郎長男)主演の映画でも評判となりました。残暑厳しい折りながら樹木の多い恒春園は意外に涼しく、どうぞ気軽にお運びください。(佐久間保明)

昨年度の文学セミナー

昨年度の文学セミナーは、初めて峯岸英雄講師により「徳富蘆花の文学世界を巡る旅」と題して全六回開かれました。各回の演題は次のとおりで、いずれも好評のうちに予定どおり終了しました。5月6日(土)理想国家論としての『思出の記』

7月1日(土)蘆花と教科書
9月2日(土)『不如帰』の方程式、武男のトリセツ

11月4日(土)『世界古今名婦鑑』を読む

1月13日(土) 蘆花と荷をつなぐもの

3月2日(土)『みみずのたはこと』を科学する

峯岸氏は蘆花会理事で、公益財団法人大倉精神文化研究所客員研究員、早稲田速記医療福祉専門学校の兼任講師でもあります。これまで徳富蘆花を中心に研究を続けてこられました。

今年度の文学セミナー

二〇二四年の文学セミナーは既に始まっておりすが、昨年度と同様に峯岸英雄講師により、「徳富蘆花の文学世界を巡る旅 第2章」と題し、代表作品や周辺人物を取り上げながら、蘆花の人生をたどっていきます。

全六回にわたる各回の演題は次のとおりです。

5月4日(土) 蘆花と三人の友

7月6日(土) 浪子のトリセツ

9月7日(土) 英語教師・蘆花

11月2日(土) 蘆花周辺人物論(1) 大久保真次郎

2025年1月4日(土) 蘆花の弟子・前田河廣一郎

2025年3月1日(土) 『みみずのたはこと』を科学する(2)

いずれも奇数月の第一土曜日午後二時から四時まで、蘆花恒春園内の愛子夫人居室で行われます。参加費は無

料です。会場の都合で、定員二〇名となっております。詳しくはホームページをご覧ください。

第11回 蘆花まつり

申し遅れましたが、昨年の一〇月二二日(日)に、鳥山地域蘆花まつり実行委員会の主催で、四年ぶり「完全復活」という形で第11回の蘆花まつりが開催されました。蘆花恒春園を会場に多くの参加者を得て成功裡に営まれました。蘆花会からも二名が参加してブースを開くことができました。今年も一〇月第四日曜日の二七日に予定されています。

終わらない戦争

二〇二二年二月に始まったロシアのウクライナ侵攻による戦争はいつ終わるともわかりません。加える昨年一〇月からはパレスチナで新たな紛争が起り、今やイスラエルのガザ地区への攻撃が悲惨な状況を引き起こしています。

日本中で多くの人々が胸を痛めていることと思われまます。かつては日本でも戦争の終結が遅れて甚大な不幸を生んでしまいました。もし反戦平和主義者の蘆花が生きていたら、何を考え何を言うだろうかと思うことしきりです。蘆花を知ることの尊さを感じております。

*公園内では現金の授受ができません。お手数ですが会費の納付は銀行振り込みでお願いします。

事務局より

～正会員・賛助会員募集～

【入会金・年会費】

正会員各 1,000 円

賛助会員各 500 円

【振込先】

三菱 UFJ 銀行王子駅前支店

特定非営利活動法人 蘆花会

普通 0274264

*会報の送付を停止希望の場合は左記までお知らせください。

☎ 090・1618・9659

✉ sakumaxim@ezweb.ne.jp (佐久間)